

小金井市議会報告会（令和2年度）実施報告書

小金井市議会基本条例に基づき、以下のとおり令和2年度の議会報告会を開催いたしましたので、その概要をご報告申し上げます。

- 1 日時 令和2年8月21日（金）19：00～21：00
- 2 会場 小金井 宮地楽器ホール 小ホール
- 3 主催 小金井市議会
- 4 主幹 議会報告会実行委員会
委員 ◎渡辺大三 ○小林正樹 清水がく 沖浦あつし 水谷たかこ
坂井えつ子 たゆ久貴 篠原ひろし
- 5 定員 新型コロナウイルス感染症に伴い、主催者を含めて入場可能人数は50人まで。よって、参加者定員は40人に設定。
- 6 参加者 27人（手話通訳者、保育従事者を除く）
- 7 手話通訳 実施
- 8 保育 実施（定員4名）・・・新型コロナウイルス感染症対策で、保育スペースで使用した楽屋にも入場定員が設けられていたため。実施したが利用者はなかった。
- 9 新型コロナウイルス感染症対策
 - ① 事前申し込み制
 - ② 入場人数の制限
 - ③ 座席指定及び連絡先の記録
 - ④ 入場時の検温
 - ⑤ 入場時のチェックシートの記入

⑥ 消毒液、マスクの用意（マスク着用義務付け）

⑦ 終了後の座席等の消毒

10 事前 PR

① こがねい市議会だより

② 市報こがねい

③ 市の掲示板

④ 駅頭チラシ配布（8月18日（火）18～19時、武蔵小金井駅班、東小金井駅班に分けて実施）

⑤ 市議会 Twitter

⑥ 市議会 HP

⑦ 各議員による SNS 等での呼びかけ

11 タイムテーブル

16：00 実行委員は議会に集合し、当日配布資料の作成など。

18：00 現地集合。設営。

18：30 常任委員長、議運委員長、特別委員長を交え、質疑応答の段取り打ち合わせ。

18：45 開場（受付＝篠原、沖浦、坂井）

19：10 開会（司会＝清水、水谷）

19：12 議長挨拶（五十嵐議長）

19：15 議会報告「新型コロナウイルス感染症対策について」

厚生文教委員長報告（紀委員長）

予算特別委員長報告（湯沢委員長）

19：35 休憩（換気／参加者に質問事項を書いていただき、回収し、各所管の委員長に振り分ける作業）

20：00 質疑応答（参加者に書いていただいた質問事項に対して、当該質問事項を所管する委員会の委員長が回答する方式を採用した）

常任委員会（紀委員長、齊藤委員長、村山委員長）

議会運営委員会（小林委員長）

特別委員会（白井委員長、遠藤委員長）

20：55 謝辞（渡辺実行委員長）

21：00 閉会（参加者アンケート回収）

12 当日配布資料（作成担当＝渡辺、坂井、沖浦）

- ① 式次第
- ② 議員紹介
- ③ アンケート用紙
- ④ 新型コロナウイルス感染症に関する決議、意見書、基金条例の写し
- ⑤ 各会派の会派ニュース（配布を希望する会派のみ）

13 パワーポイント 実施（担当＝たゆ）※紙ベースでは配布しない

14 動画撮影 実施（担当＝小林）※小金井市議会公式 YouTube にも後日アップ（突発事態に備えて、当日生中継は行わない）

15 次回開催に向けての申し送り事項

- ① 今回は新型コロナウイルス感染症対策のため、かなり変則的な開催であったことに留意していただきたい。
- ② 文書での質問に回答する形式は、限られた時間の中で数多くの質問にお答えする意味で有効であった。
- ③ 来年度の議会費においては、小金井 宮地楽器ホールの会場費と、横断幕作成費を計上しておくべきである。
- ④ 質問事項の各委員会での活用は、今後の検討事項である。

添付資料

- 1 議会報告会実行委員会名簿
- 2 案内チラシ
- 3 当日配布資料（各会派の会派ニュースを除く）
- 4 質疑応答（要旨）
- 5 参加者アンケート及び回答

議 会 報 告 会

実行委員会委員名簿

令和2年1月29日現在

名 称	氏 名
自由民主党・信頼の小金井	清 水 が く
小金井市議会公明党	○ 小 林 正 樹
みらいのこがねい	沖 浦 あつし
日本共産党小金井市議団	た ゆ 久 貴
小金井をおもしろくする会	水 谷 たかこ
情報公開こがねい	◎ 渡 辺 大 三
改 革 連 合	篠 原 ひろし
緑・つながる小金井	坂 井 えつ子

◎ 委員長 ○副委員長

小金井市議会が主催する

議会報告会

【報告テーマ】新型コロナウイルス 感染症対策について

小金井市議会は、議会基本条例に基づいて、毎年、議会報告会を開催しています。今年は「新型コロナウイルス感染症対策について」をテーマに市政の動きを報告いたします。また、市政全般について質問用紙にご記入いただき、担当の委員長からその場で回答いたします。

今回は、新型コロナウイルス感染症の影響で、「三密」を避けるため、入場定員を40人とし、ご入場の際には検温チェックも実施いたします。また、会場内ではマスクのご着用をお願いいたします。現下の社会状況上、ご理解ください。

日時 8月21日(金) 19:00～21:00

会場 小金井 宮地楽器ホール(市民交流センター)1F小ホール

定員 40人(先着順)(事前に参加申し込みが必要です)

*当日、会場では手話通訳及び保育があります(保育は8月13日までにお申し込みください)。

参加申し込みは、議会事務局まで。

① 電話 042-387-9947

② Fax 042-387-1225

③ メール g020199@koganei-shi.jp

議会報告会

8月21日(金)

19時スタート

開会あいさつ

令和二年度一般会計
補正予算第1回～第5回
その他・議員提案など

補正予算第1回

- 一人10万円の「特別定額給付金」
- 子育て世帯への臨時特別給付金

補正予算(第2回～第4回)

総額 1, 366, 036千円

国庫支出金 761, 277千円

都支出金 266, 479千円

一般財源 338, 280千円

事業継続支援給付金

事業用に建物を賃借し、売上高が前年同月から15%減少した事業者には20万円の給付金を支給する。

@ 200千円 × 1,250件 250,000千円

小中学校 ICT環境整備

全児童・生徒に行き渡る分の教育用パーソナルコンピュータを購入するとともに、通信環境等の整備を行う。

@ 45千円 × 7,529台 309,345千円

児童扶養手当受給者への臨時給付金

児童扶養手当受給者への支援として、5・6月分の支給分と同額を給付する。

@ 76, 107千円 × 369人 28, 145千円

ひとり親家庭への臨時給付金（国制度）

児童扶養手当受給者や、同じ水準まで収入が減少した方に1世帯あたり5万円（第2子以降3万円追加）を給付する。

障がい福祉・介護事務所補助金

事業運営費用を一部補助するとともに、最前線で介護等に従事する職員に慰労品（ギフトカード等）を支給する。

232事務所

39,950千円

@5千円×3,680人

18,400千円

市民交流センター利用料の減額

感染拡大防止のため施設の定員が制限されることに伴い、利用料金を2分の1に減額する。

図書消毒機の設置

@ 1, 309千円× (本館・貫井北分室) 2, 618千円

高齢者世帯への冷房機器購入助成

@ 50千円× 60世帯 3, 000千円

駐輪場定期利用料の補助 (学生のみ)

@ 2000円× 2ヵ月× 600件 2, 400千円

補正予算(第2回～第4回)

総額 1, 366, 036千円

国庫支出金 761, 277千円

都支出金 266, 479千円

一般財源 338, 280千円

議員提案したもの

- 議員報酬を20%削減する条例
- 新型コロナウイルス感染症対策基金条例
- 新型コロナウイルス感染症関連の意見書15本

その他

- 発熱外来・PCR検査センターの整備
- 医療機関や福祉施設におけるマスク等の調達支援
- 市立小中学校における学習課題の送付やインターネット等を活用した家庭学習の支援
- 市税、国民健康保険税や下水道使用料等の支払猶予及び減免

その他

- **東京都議会議員選挙における感染症予防対策**
- **集団健診の個別健診化の実施**
- **児童・生徒の心のケアの充実**
- **障がいのある方への支援**
- **障がい者、高齢者、子育て支援等の協働事業者への支援**

補正予算第5回

アーティスト等緊急支援事業

- ・WEB上で配信する動画を募集し、動画作成に携わったアーティスト及びスタッフに謝礼として一人当たり5万円(上限一作品30万円)を支払うものです。

新生児特別定額給付金

- ・令和3年4月1日までの間に出生した乳児一人につき10万円を給付するものです。

こがねい事業者応援金

- 2月から8月までの間で、連続する2カ月間の事業収入が、前年同期と比較して15%以上減少している事業者に対して、最大20万円を支給するものです。今回は、前回支給対象外となられた方を主に対象とした応援金となります。

小金井市プレミアム付商品券発行事業

- 1万円で購入した商品券に、プレミアム分として30%を上乗せした、1万3千円分を市内商店で利用いただけるもので、2万部発行されます。

医療従事者慰労金・保育所等職員慰労品

- 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、事務職員等に対して、最大一人当たり10万円が支給されるものです。
- 保育に従事いただいている職員に頂いている、全ての方へ市内で利用できる商品券5千円分を支給するものです。

電子書籍の導入

- 図書館に来館せずに利用できる電子書籍が導入されます。

避難所における感染症対策

- ・ 消耗品および備品の購入

私立幼稚園、民間保育所の感染症対策事業補助

ココバスに令和3年4月からICカードを導入する為の予算

質疑応答

閉会あいさつ

- アンケートにご協力をお願いいたします
- ご来場ありがとうございました

行財政改革推進調査特別委員会

No.1

質問：人件費の削減は進んでいるのか、逆に増えているのか

回答： 人事院勧告に基づいて労使間協議を行い、職員の給与をあげてきた経緯がある。西岡市長の任期前期2年間のなかで、6億円の税増収があった中で約3億円強が人件費に使われたという事実がある。

No.2

質問：市の職員の新型コロナウイルス感染症対策について。職員のリモートワーク、テレワークは進んでいるか。安心して、健康を保ちながら働けているか。感染者が出て寄与機能しなくなった時のリスク対策は考えられているのか。

回答： コロナでの対策、また働き方改革の両面において、テレワークはあまり進んでいない状況。自粛後、約半数の職員が交代勤務する状況であった。これまでテレワークをあまりやっていたので、急に実践するのは難しかった。

働き方改革等を考え、今後オンライン会議等を進めていくという職員の働き方を変えていくという方向性はでている。職員の安全を守りながら、働き方改革を見守り、職場の環境を整えることを議員として応援していく。

庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員会

No.3

意見：計画中の福祉会館に広い「吹き抜け」を作る計画をやめて、「萌え木ホール」くらいの会議室をたくさん作って欲しい。会場を使いたくて、抽選待ちになっている市民の実情をくんで、市民の要望をかなえてほしい。

回答： ご意見として承る。庁舎と福祉会館がL字でくっついているエントランスが吹き抜けになっていて、1階から2階での活動などが見通せるようになっている。。設計上の意図としては、市民の参加と協働を支える場という位置づけで、マルチスペースなど市民参加スペース、市民協働センターなどを置いて、市民による多様な活動や交流を推進するという考え方がある。活動場所が欲しいというご意見として、受け止めさせていただく。

No.4

意見：当初の計画より費用が大きくなっているのではないか。建設費の縮減を。

回答：ご意見として承ります。

No.5

意見：ひろばを広く確保して欲しい。今の広場は、名ばかりのものになっている。

回答:ご意見として承ります。

No.6

質問：基本設計に入った段階での設計変更は考えられるのか？

回答：3月に基本設計は終わって、現在は実施設計に入っている。原則として、12月以降の設計変更はできないという回答をいただいております、大きな変更は難しい。

No.7

質問：新庁舎建設の進捗はどうなっているのか。財政が厳しい中での建設費の見直しはないのか。105億円は高いのではないのか。

回答：庁舎だけの建設で100億円というと、小金井市の財政規模からは大きいように感じるが、正確には、新庁舎および新福祉会館の建設をあわせた一体の施設として総額約108億円である。建設費だけでなく、事業費の総額である。企画設計から、外構や引越し費用もすべて含めた額が108億くらいと試算されている。実施設計完了後、精査されてしっかりした金額が示されることになる。無駄なコストをかけないようになど、議会からもいろんな意見が出ている。

No.8

質問：「新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、新庁舎及び（仮称）新福祉会館建設に関して慎重な検討を求める決議」が6月に議会で可決されている。その後の進捗はどうなっているのか。計画修正はあるのか。

回答：計画修正は今のところない。予定通り実施設計を終えて、予定では来年6月以降に施工のための事業者選定に入る。来年度中には着工に入るスケジュールになっている。ただし、議会からも指摘されているが、新型コロナウイルス感染症の影響で今年度・来年度の税収が下がってしまうのは大きな傾向としてわかっていること。財源計画をしっかりと確認した上で、新型コロナウイルス感染症対策として市が必要な財政出動をしながらも、予定通り庁舎建設ができるのか、しっかり見極めるよう議会からも求めている状況である。

No.9

質問：庁舎移転、何が問題になっているのか

回答：庁舎建設は大きな事業。広場、構造、機能、いろんな問題、意見がある。また、新型コロナウイルス感染症の対策や対応を行った上で予定通り建設できるのか、財源を含めた見極めが必要。秋ごろに市の中期財政計画（5か年）が提出される予定で、合わせて庁舎の財政計画がされる予定。市民の暮らしを守りながら、しっかり事業を進められるかの判断があると思う。

議会運営委員会

No.10

質問：市議会を傍聴していてよく解らない。議会用語や政治用語、数字やカタカナの濫用と見える。市側は市民に分かりにくく伝えているのではないか。議会の質問もわかりにくい。

回答：議会報告会のたびに、同様のご指摘をいただいている。各議員で共有して努力はしているがまだまだ足りない。議会側からも市長部局に対して、もっとわかりやすく説明して欲しいと伝えており、YouTube を見てもわかりやすいように伝わる努力をしている。

小金井市議会基本条例を定め、検証作業も行っており、市民にわかりやすい議会への取り組みをしているので見守っていただきたい。

No.11

質問：いま議会では陳情があまりにも多く、「これは本当に必要なのか」と思う陳情も多く見られる。他の議題の妨げになっているのではないか。

回答：小金井市議会は市民の皆さんの声を大切にする議会として積み上げてきた経過があり、陳情・請願は全て委員会・議会で扱うことになっている。しかも市長の提出議案より先に審議するというルールがあり、その後の議案審査が夕食休憩後ということもしばしばあった。

しかしながら陳情の数については、議会として懸念を持っているところである。大切なお声が埋れてしまうのではないか、大切な議論が削られてしまうのではないか、コロナ対策として、議会はできるだけ短時間で終えようという努力をしている中で、質問もしぼるなどの取り組みをしているが、今後も注視していきたい。今後も市民の皆さんの声は大切にしていきたい。

No.12

質問：この状況下で夜遅くまで開いているのは大丈夫か？コンパクトにできないか。

回答：第二回定例会以後、議会運営委員会で、議会の持ち方の協議をしている。午後5時には終えるように考えている。行政側もコロナに関わる様々な仕事を抱えており、また健康管理の面でも市民のサービスに影響するので議会も心掛けています。昨日は補正予算（第5回）を審査し、1日も早く市民に予算を届けたいと、少し遅くなってしまった。次回の反省として各議員が取り組んでいきたい。

No.13

質問：議会が本来やるべきことを、コロナでできなくて問題になっていることがあるか

回答：質疑の制限もあるが、工夫しながら的確に質問や答弁をしようと心がけている。大きなところでは、行政視察や会派視察ができなくなっている。3～4月にお約束していた視察先からも、丁寧にお断りのお声をいただいているので自粛しているが、予算はまだ減額せずにいるので、大きな状況変化があれば行きたい。

努力もしており、年に1回、議員研修会を行っているが、大津市から講師を招く予定であったところ、講

師が県外へ出張できないという事態になってしまい断念も考えたが、インターネットでご講演いただくことになった。新しい取り組みをしながらハンディキャップをメリットに変えて、市民サービスに向けていきたい。

No.14

質問：若者の政治参加についてはどのような取り組みをしているのか。また、それは十分と考えているか。

回答：まだまだ足りないこともあるが、これまで議論してきた。高校生にシチズンシップ教育で何ができるのか、大学と議会の連携で何ができるのか、まさに今、動いているところである。

来週には正副議長で市内に5つある大学のうち2つの大学に訪問して、議会とどのような連携を行えるか協議をする予定。また、小金井市議会として作成した、高校生向けのパンフレット（チラシ）を持って議会運営委員会の正副委員長で市内5つの高校にうかがい、シチズンシップ教育で協力できないか、高校の中での取り組みがどうなっているかをうかがう予定である。

議会日より8面に、様々な議会改革の取り組みがあるのでご覧いただきたい。

また、今年度は無作為抽出で2000人の市民アンケートを行う。お手元にアンケートが届いたら、率直なご意見をいただきたい。

建設環境委員会

No.15

質問：イトーヨーカドー東側広場南側の歩行者横断環境が危険。対策は。

回答：歩行者優先道路という位置づけである。歩行者も車両も同時に入る。今はふれあい通りと呼ばれている。道路の位置づけの周知と注意を促す看板設置や、道路のカラーリング舗装の塗り替えなど、運転手に対する注意喚起や道路の位置づけがよくわかるように変えていくことが必要であろう、という声が議会でもあがった。

No.16

質問：武蔵小金井駅北口、西友の再開発について。南口の再開発が進む中、北口が寂しい。今後の見通しは。

回答：再開発の予定があったが、民間不動産の経済行為であり、組合を立ち上げていたが解散してしまった。西友とその周辺の地権者の方々に一定の再開発をしようという動きがある。民間の経済行為なので議会には情報が入りにくい。

No.17

質問：野川道路計画について。今現在、市はわかりやすく説明を。

回答：都市計画道路3・4・1、3・4・11のことと思う。都道である。昭和30年代に都市計画道路として位置付けられている。懇談会やオープンハウス、東京都は説明会を開いているが、分かりやすく

説明するというのは道路の状況を図面で見て話さないと難しい。基礎情報を市報等でみていただいて、具体的な質問や要望は、図面を元にお話をさせていただきたい。ここでは具体的なことは話にくいことを理解いただきたい。

No.18

質問：市役所のゴミ減量について、ごみの持ち帰りなど、議会で心掛けていることはあるか

回答：小金井市は燃えるゴミに関して、過去の経過から、議会の中でも、また市民にもご協力いただいて、燃えるゴミの排出量が非常に少ないと言われているところ。持ち帰るだけでは減量しない。市外勤務の職員が市外に持っていけば小金井市は減るかもしれないけれど、日本全体としては減らない。プラごみゼロなどの動きが議会を出ている。市が設置する自販機にはペットボトルはない。分別など、それぞれの議員がしっかり取り組んでいくべき。

No.19

質問：リサイクルセンターは8月末までと市は決めています。是非とも継続して欲しい。燃えるごみを入れていただく日野市・国分寺にも立派なリサイクルセンターがある。ごみは30年後にはゼロにすると決めています。

回答：陳情書が議会に出され建設環境委員会で審査してきた。採決をしたところ、不採択となっている。ただ9月定例会冒頭の本会議で最終的な採決をする。

No.20

質問：小金井市はJRを使って通勤する人が多いと推測する。混雑緩和や、通勤者通学者のテレワーク移行への支援については、市からの支援の対象にならないのか。

回答：JRの中央線混雑緩和は、2023年から車両を増やし、電車内にトイレつき車両が入り、ホームも延長する予定。

テレワークについては、建設環境委員会の所管ではないがので発言は難しい。市内の小中学校でオンライン授業が検討されている。

総務企画委員会

No.21

質問：3月以降、コロナの影響で倒産等した企業は把握しているのか

回答：正確な数字は市から報告は受けていない。きめ細かい実態調査をすべきという声が議会で多数出ている。市内にある商工会等でヒアリングをしていると聞いている。

No.22

質問：市のお知らせがコロナの影響で伝わりづらくなっている。市の施設や市民サービスも変更が多く、情

報伝達の必要性が高くなっている。Twitter と HP、マチマチ、市報等、従来のままでは足りないのでは？ SNS 強化を望む。

回答：SNS の改善、小金井市の情報の在り方については議会からも要望をあげている。様々な政策を展開していることを知らせて、活用していただくべき。どのようにしていくか議論していきたい。

No.23

質問：飲食店等の支援のため、またアルバイトができていない学生に対して、デリバリーのスキームを整備する費用及び手数料の支援を行う予定はあるか。（例：三鷹市）

回答：手数料というのは、ウーバーイーツ等の事かと思う。8月14日付の資料にある「ディスタンス事業」の予算を可決した。スキームの構築は、業者との意見交換を深めていく必要がある。昨日可決したもので終わるものではないと考えている。

No.24

質問：コロナ状態での避難所の感染防止は万全か？

回答：8月19日の総務企画委員会において、避難所の運営マニュアルの改訂版で方針が示された。準備を整えつつある。昨日の臨時会でも、避難所に対する意見・質問が出ていた。重要な観点である。

No.25

質問：アーティスト支援について。東京都と同じ組み立てだが、楽しめるレベルの動画をつくるのは難しい。本来のアーティスト支援ならば、事業や活動内容を紹介する画像やテキスト（可能なら）動画を提出し、それを紹介するポータルサイトにするとよい。画像とテキストだけでも可能にすると敷居が下がるし、幅広いジャンルも可能。WEB から登録できるサイトを作るとよいのではないか。

回答：アーティスト支援については、昨日の予算審議でも多くの意見が出た。総務企画委員会でアーティスト支援の陳情を審議し、緊急性が高いということで委員長発言の補足説明を付して採択した。それを受けて、市は5万円給付という政策を提案した。細部のツメがまだできていないという印象。急げといったのは議会だが、効果が見込めるかわからない中で、見切りで進めるわけにいかない。今後、事業の内容を詰めていくというので議会でチェックしていきたい。

No.26

質問：市歌はなぜ防災無線に使われないのか。

回答：市歌の活用、今後どうしていくのか。無理なく愛されるように作った歌であり、今後、活用方法を考えていく必要がある。市歌については議会でも様々な意見がある。ご意見として承る。

No.27

質問：市長にリーダーシップを求める意見があるが、リーダーシップをどのように理解しているか。リーダーには先見性と他の人を引っっぱって行くことと理解しているが、議員の協力なくして発揮できないが。

回答：市長と議会は、車の両輪というが、馴れ合いにならずお互いにチェックしていくべきもの。議会の協力も必要ということもあるが、耳も痛いことも言う必要がある。一方で予算提案権を持つるのは市長。議員よりも、市長には組織があり、圧倒的な調査能力があるのだから自信をもって調査し、政策立案し、自信を持って訴える、それがリーダーシップだと思う。貴重なご意見として市長に伝える。

厚生文教委員会

No.28

質問：学校のPC配備で在宅学習を可能にするのか。

回答：学校の学び、授業がなくなるわけではないが、コロナ禍でも学びを止めないという意味での在宅学習は可能となる。

No.29

質問：学校でのPCの活用時期はいつか。

回答：当初の予定では9月の予定であったが、ネットワーク契約が遅れているので2学期中には稼働する予定である。（当初の回答を一部訂正）

No.30

質問：ICT教育の構想について聞かせて

回答：文部科学省がホームページに指針を書いている。GIGAスクール構想では、従来は一方的・画一的であった指導を、ICT技術を活用することで、個々の児童・生徒に合わせた個別的なものへ変容させ、多様な学びを提供するために、児童生徒1人につき1台の端末を整備することを目標としている。長期化する休校期間中にも学びを確保するために、令和5年度までの整備としていた計画が令和2年度中に前倒しになった。本市でもこれを契機に整備を進めた。

No.31

質問：新入学児童には毎年PCを配備するのか？

回答：貸与であり、プレゼントでないので、新しく入った児童は既存のものを使っていくことになる。

No.32

質問：3月の全国一斉休校に伴う休校は「意味がなかった」と専門家からも批判が出ているが、残念ながら小金井市国の方針に従ってしまった。市議会として歯止めをかけることはできるか。

回答：市の執行権の範ちゅうなので、議会の権限ではできない。必要性について議会で議論することは可能。

No.33

質問：児童扶養手当がもらえない、(別居などの)ひとり親への支援は。

回答：個別具体的なことなので、まずは市にご相談を。

No.34

質問：小金井市内のPCRセンターはどこにあるのか。

回答：市内にない。市も公表していないので場所は言えないが、府中にある。発熱などで心配があるときは市内のかかりつけの病院等に連絡して、受診していただき、コロナの可能性がある場合は、かかりつけ医から連絡を取って検査することになっている。輸送の自動車もあるので、安心してください。

No.35

質問：PCR検査の経費補助は、単価を考えると1000万円程度ではとうてい足りないのではないか。大幅な予算の増額を

回答：PCR検査は1人1回3万円以上と言われている。必要量を考えると、確かに1000万円では足りないと思う。東京都の支援も求めつつ、検査の拡充を求める要望を、議会の決議として出した。

No.36

質問：市中の感染状況を把握するための大規模な抗体検査を実施する予定はないか。市議会で審議する予定はあるか。

回答：現時点で予定はないが、昨日、PCR検査の拡充を求める決議を可決した。

検査拡充をも止める決議を出した。

No.37

質問：10月以降、インフルエンザも拡大する可能性があるため、新型コロナウイルス予防接種も早めに行ってほしい。インフルエンザの予防接種と一緒に無料で受けさせてくれるとありがたい。

回答：費用軽減を検討していければと思うが、単独(会派)ではできないので、ご要望として受け止める。

No.38

質問：2040年問題が迫る中、議会の考えは。

回答：現役世代の1.5人が高齢者1人を支えるという2040問題。議会としての統一見解はない。高齢になっても元気で医療費や介護費の縮小に努め、定年延長などの議論は今から進めていっている。

No.39

質問：小金井市独自のベーシックインカム制度の活用についての仕組みについて、市民に分かりやすい

説明と今後の予定を。

回答：ベーシックインカムとは、フィンランド等で行われている、政府がすべての国民に対して最低限の生活を送るのに必要とされている額の現金を定期的に支給する政策。議会では議論していないし、市も方針を持っていない。今後の貴重な意見として承る。

No.40

質問：コロナ対策でレジのスタッフがマスクを着けている人が多く、何を言っているかわからない。できれば「レジ袋は必要？」「袋の大きさは？」等のコミュニケーションボードを作成・購入し、スーパー等に配布して欲しい。障害ある人もない人も共に学び、共に生きる小金井市条例に照らし合わせて。

回答：貴重な意見として承る。

No.41

感想：補正予算でも、やればできるじゃないか。その分だけ課税が増える。しかし課税はお国のためだから仕方がない。この非常時の予算として『可』も言いたい。これでやれるんだから、常に毎年やることが大事だと思う。

回答：応援のメッセージとして受け止める。

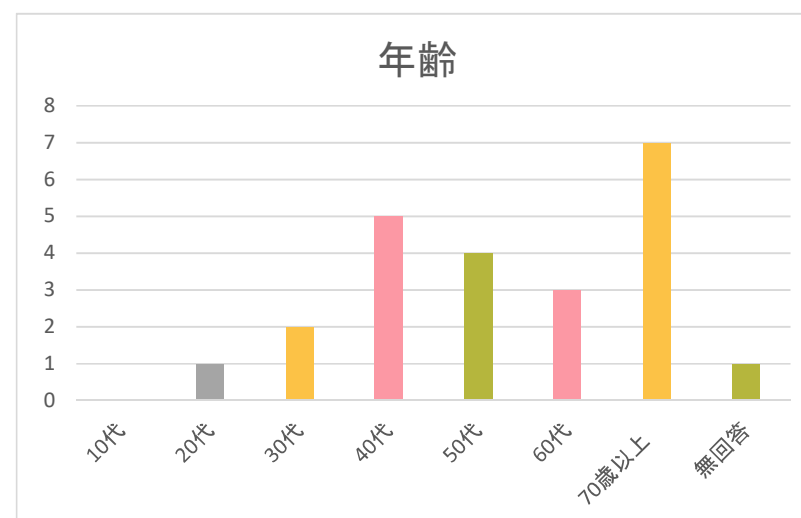
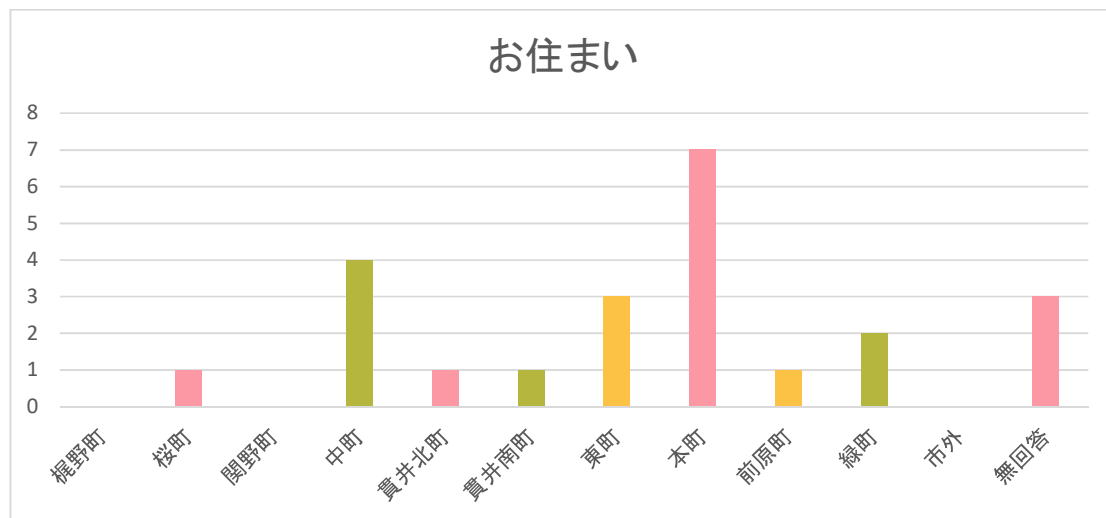
以上

(回収 23枚)

お住まい	梶野町	桜町	関野町	中町	貫井北町	貫井南町	東町	本町	前原町	緑町	市外	無回答
数	0	1	0	4	1	1	3	7	1	2	0	3
パーセント	0.0	4.3	0.0	17.4	4.3	4.3	13.0	30.4	4.3	8.7	0.0	13.0

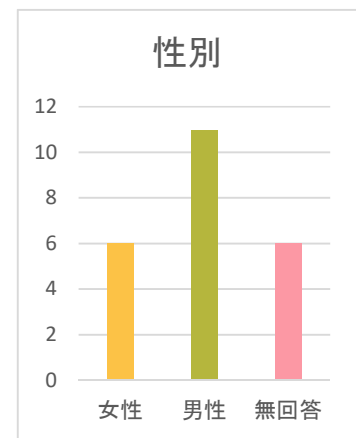
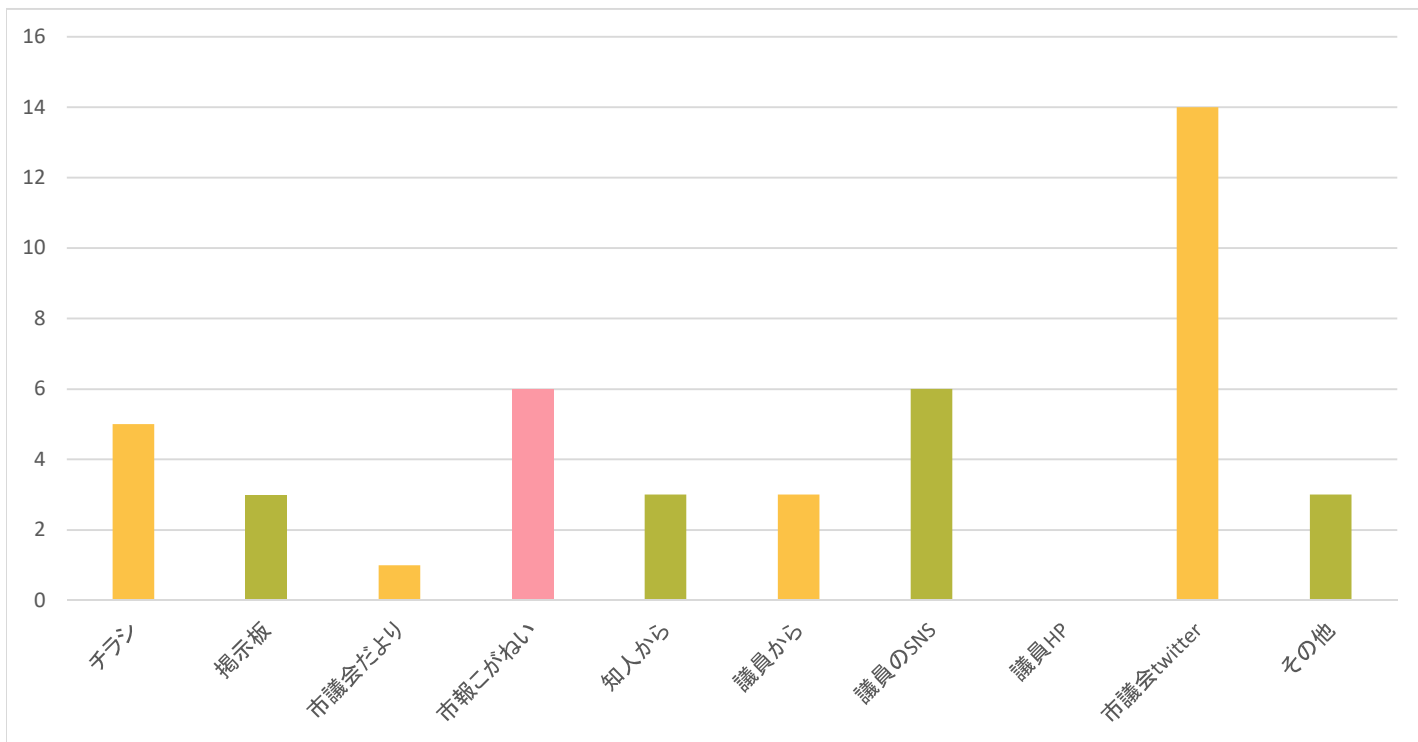
年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答
数	0	1	2	5	4	3	7	1
パーセント	0.0	4.3	8.7	21.7	17.4	13.0	30.4	4.3

性別	女性	男性	無回答
数	6	11	6
パーセント	26.1	47.8	26.1



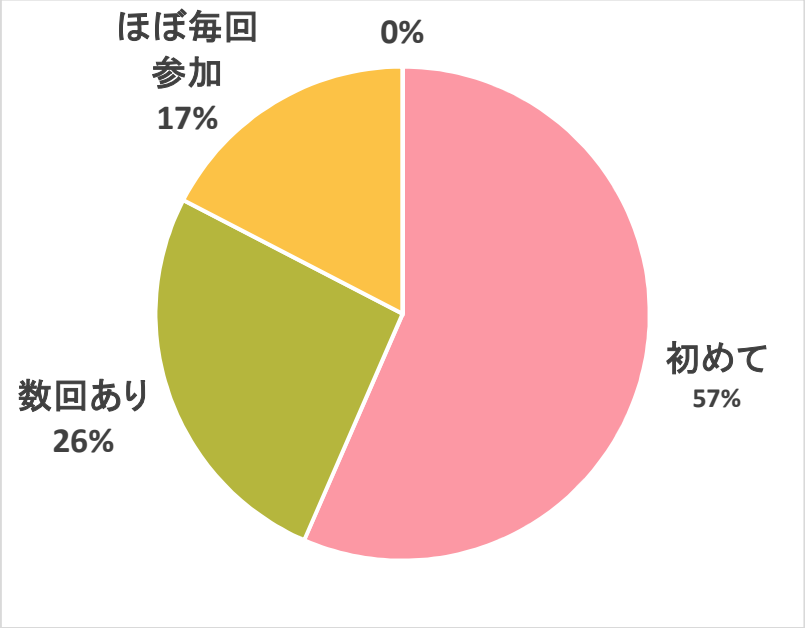
※ 市外…なし

チラシ	掲示板	市議会だより	市報こがねい	知人から	議員から	議員のSNS	議員HP	市議会twitter	その他
5	3	1	6	3	3	6	0	14	3



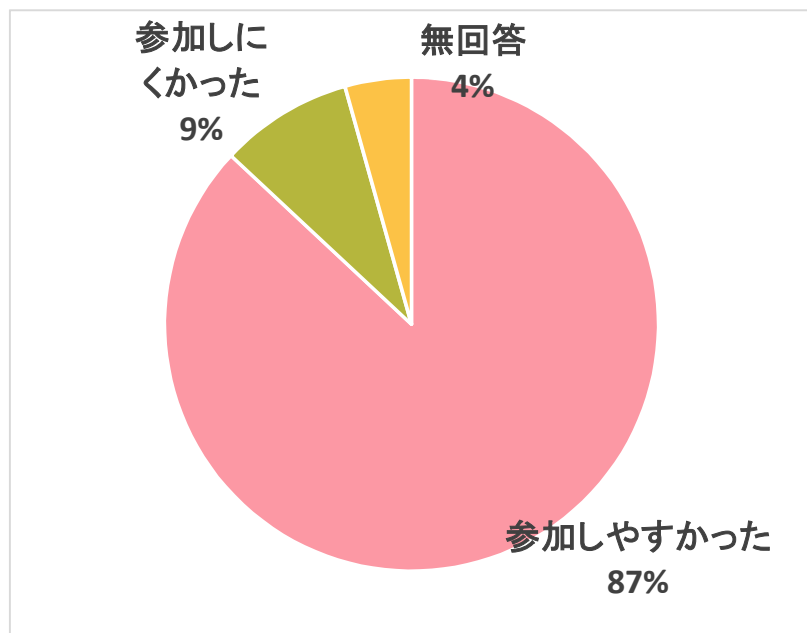
何回目の参加ですか？

回答	初めて	数回あり	ほぼ毎回参加	無回答
数	13	6	4	0



(1) 開催日時の設定は？

回答	参加しやすかった	参加しにくかった	無回答
数	20	2	1



参加しやすかった

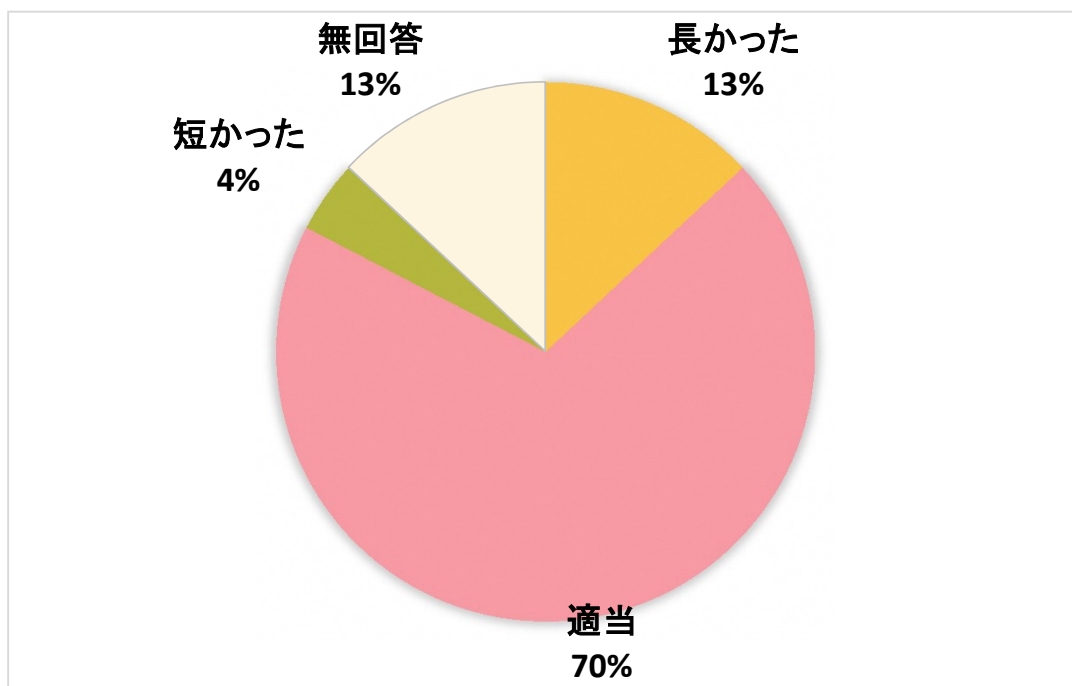
- ▶ 職場を出て武蔵小金井駅に到着するのが18:20頃で、夕食を食べて参加ができる時間だった。
- ▶ 夜だから。
- ▶ 夏で暑さが和らいだ夜は、身体にやさしく助かりました。
- ▶ 夕食をやや早く済ませ自由な時間に参加できたこと。
- ▶ 19時は仕事帰りに参加しやすい。

参加しにくかった

- ▶ 平日開催は仕事で参加が難しい。
- ▶ 新型コロナウイルス感染の恐れがあり時期が悪い。

(2) 議会からの報告の時間配分は？

回答	長かった	適当	短かった	無回答
数	3	16	1	3



長かった

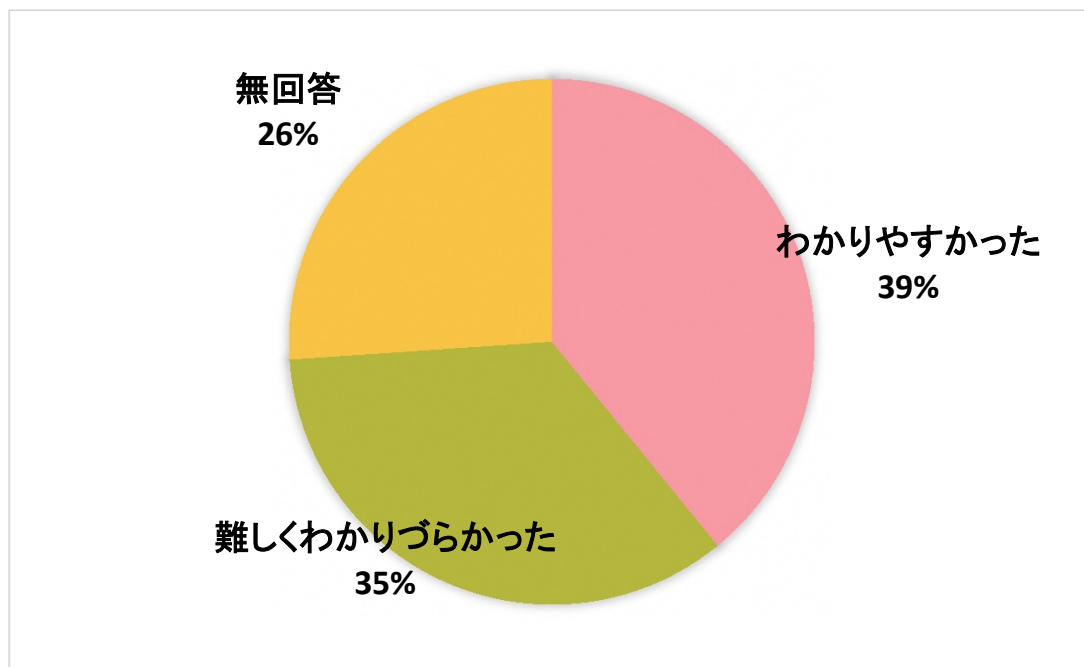
- ▶ 小生は慣れていたのでしょう。
- ▶ 予定は20分です。

適当

- ▶ ペーパーに無い部分の報告をもう少し長くほしかった。
- ▶ 19-21時の2時間は適当。

(3) 定例会報告の内容は

回答	わかりやすかった	難しくわかりづらかった	無回答
数	9	8	6



わかりやすかった

- ▶ わかりにくいのは職員の答弁。

難しくわかりづらかった

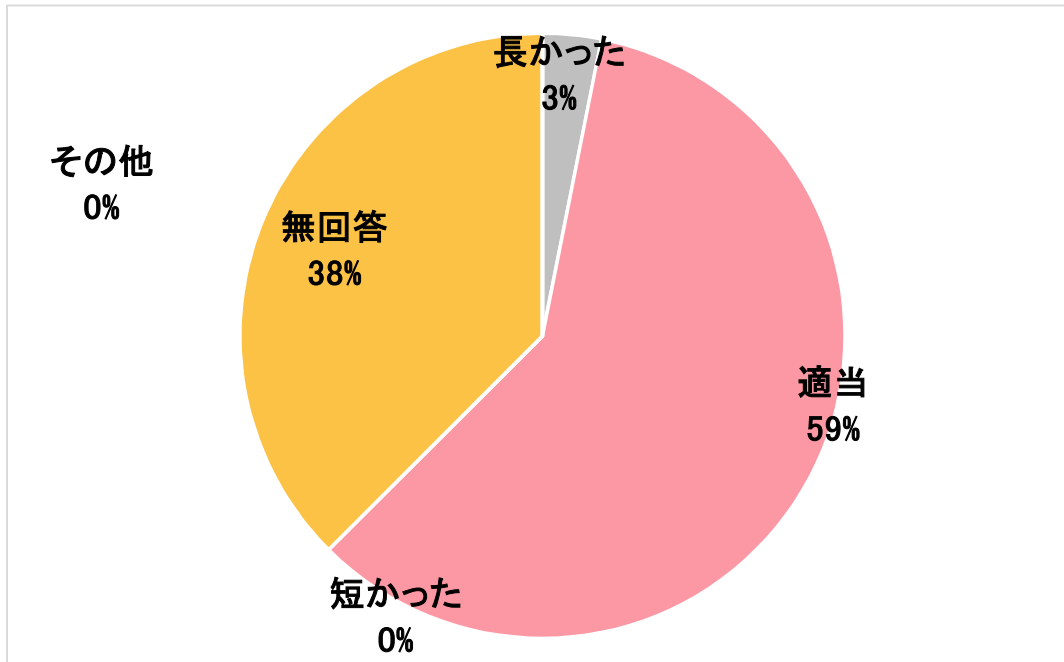
- ▶ 数字の羅列。
- ▶ プレゼン技能が不十分。市民に何を理解していただくか明確でない。
- ▶ 施策内容は分かったが、その根拠・背景を定量的に説明いただかないと適当かどうか分からない。
- ▶ 初めての参加であったため、議会独自の言語表現や資料も行ったり来たりして参照しなければならなかったり、あらかじめ報告する内容をプリントにまとめてほしい気がしました。
- ▶ 報告項目が多く、早口でわかりづらい面があった。しかしスクリーン表示は良かった。
- ▶ 報告をまとめた紙があると良かった。報告している事が資料のどこに当たるのか説明もなく何のために用意した資料かもわからない。
- ▶ 資料と報告内容が合っていないのでどこを見ればいいのかわかりにくい。
- ▶ 説明内容についての資料が欲しかった。パワポ資料くらいは配布してほしい。配布資料で説明してもよかったのでは。

無回答

- ▶ 早口になったり数字が分かりづらかった部分が少し残念。
- ▶ 要点のみの説明の方がよいと思いました。
- ▶ 説明スライドと同じ手もと資料がほしかった。

(4) 質疑応答の時間配分は

回答	長かった	適当	短かった	無回答	その他
数	1	19	0	12	0



長かった

- ▶ 女性の方も多く、時間が遅くなる。
- ▶ 2時間内ならこれでよし

適当

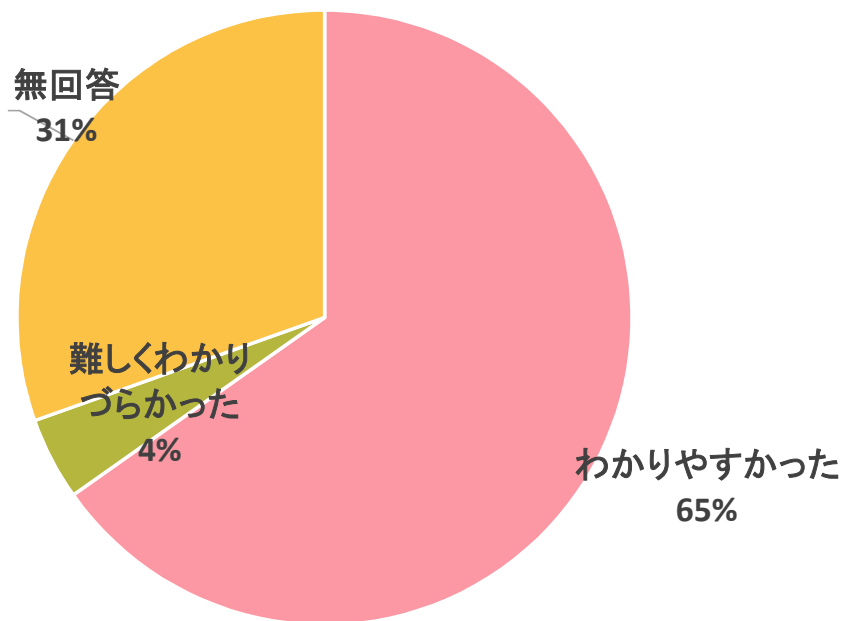
- ▶ 最大限、配分したと思いますか、話足りない感じかします
- ▶ 全体を2h30minにして、テーブルトークを30分程度ふやしてほしい
- ▶ 前回前々回に比べて良くなったがまだ短い
- ▶ 議題がないと苦しい
- ▶ 参加者は発言テーマをもって参加している。もっと時間をかけて話し合いができるといい。

無回答

- ▶ 合理的配慮の工夫をお願いします
- ▶ 時間やや不足
- ▶ 話が深まらない

(5) 意見交換会の内容は

回答	わかりやすかった	難しくわかりづらかった	無回答
数	15	1	7



わかりやすかった

- ▶ 回答が不十分。議員の能力と比例しているか
- ▶ まあ、いつものアレねって質問もあり、ウンザリです。
- ▶ 議会用語、政治用語、アルファベット、数字がなかった。有難い。
- ▶ とてもよかった。自分の知らない、市職員の人件費や庁舎建設の話が聞けてよかった。白井議員さんの話はとてもわかりやすい。驚きました。
- ▶ “市民の興味のあるテーマが色々出てよかった。
- ▶ これに対する回答はままわかりやすかった。”

難しくわかりづらかった

- ▶ 数字の羅列

無回答

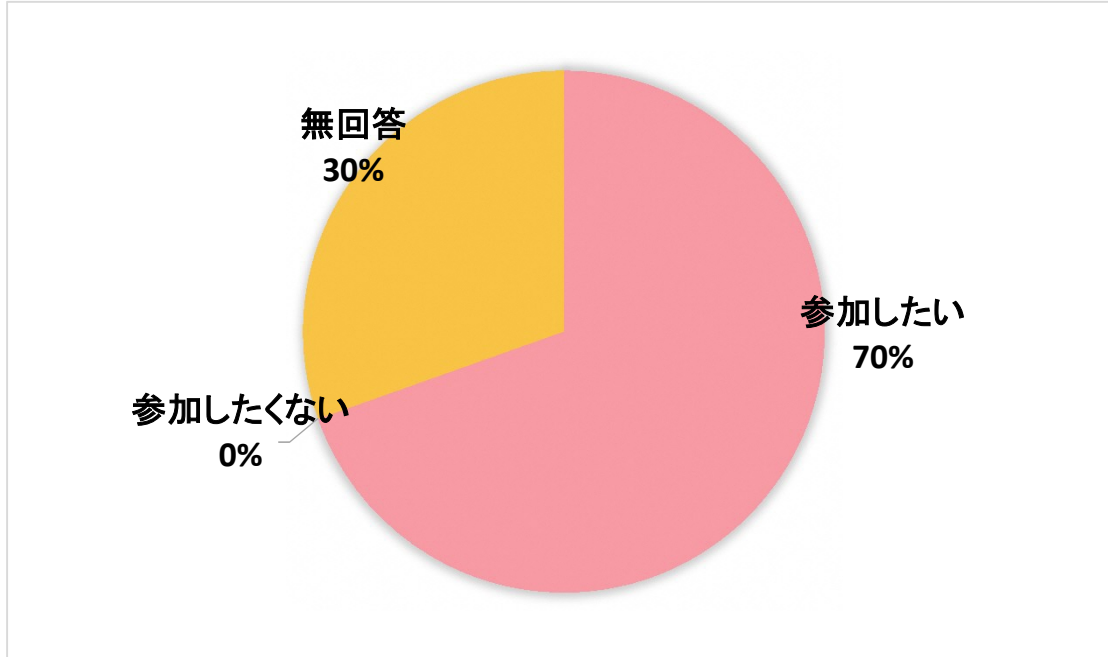
- ▶ 回答は総じてわかりやすかった。コロナ対策費一覧表は全体像がよく分かるので良かった。
- ▶ 普通

(6) あなたが興味あるテーマは何ですか？

- ▶ コロナ対策、実態調査
- ▶ 教育。まちづくり。新庁舎
- ▶ 行政のICT化、生産性向上
- ▶ 社会福祉、教育、子育て等
- ▶ 新型コロナ①医療体制(検査体制)②教育関係③市内事業者への支援
- ▶ 新庁舎/街並み
- ▶ 国益、国防に対する自治体の運営
- ▶ コロナの中での市民サービスの充実
- ▶ コロナで今後税収が落ち込む中、市民サービスをどう給付していくのか。
- ▶ 環境問題
- ▶ リサイクルセンター続けるようお願いします
- ▶ 公共施設再配置計画、まちづくり、都道、庁舎
- ▶ 議会改革
- ▶ “市民の学習意欲を守るためのリモート環境の整備。
- ▶ 公民館は定員の1/2に制限され利用者が減少。
- ▶ 高齢者が増加すれば在宅での学習を希望する。(施設に行かなくてもりーもーとで自宅で学習)”
- ▶ 社会福祉≒障害者福祉≒生涯学習≒社会教育など

(7) 今後、議会報告会に参加したいですか？

回答	参加したい	参加したくない	無回答
数	16	0	7

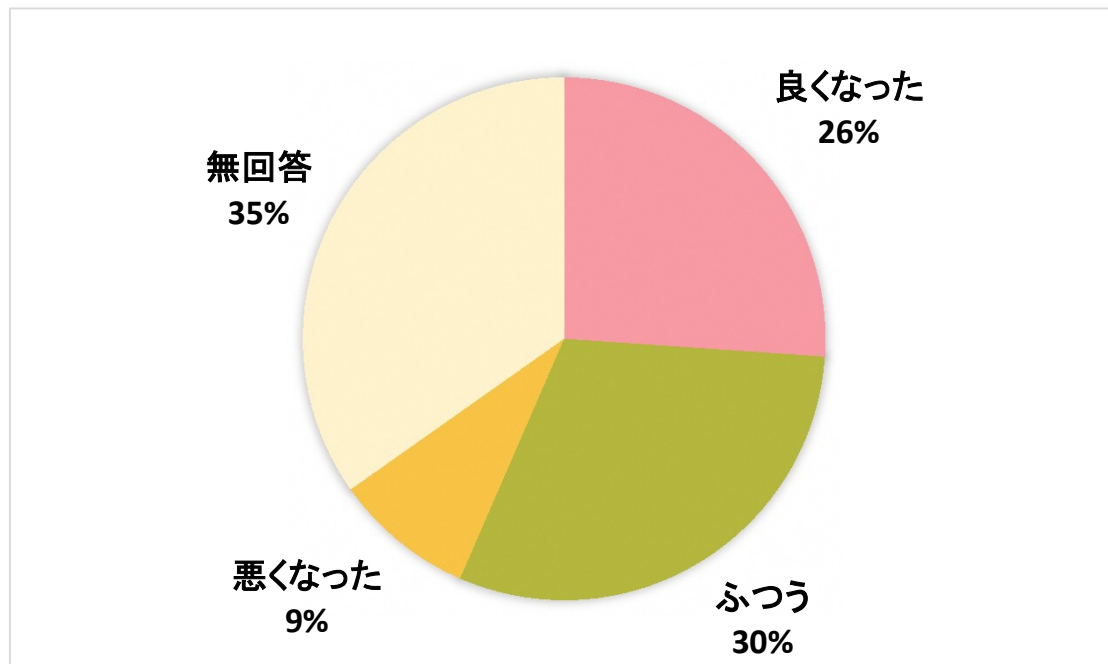


参加したい

- ▶ はけのみち都計道
- ▶ 多胎児支援。20代、30代の政治参加
- ▶ 報告会の進捗を見ていきたい
- ▶ 市議会の内容をもっと知りたい
- ▶ 市行政、市議会を良く知りたい為また市民としてチェックする為
- ▶ 時間があれば参加したい
- ▶ 市議会だよりだけでは分からない面もあるので。
- ▶ 議会が私生活にかかわる事なので
- ▶ 全会派が集まる会は重要です

(8) 議会に対するイメージは？

回答数	良くなった	ふつう	悪くなった	無回答
	6	7	2	8



良くなった

▶ より多くの年齢層の人間に参加してもらいたいと思った

悪くなった

▶ この新型コロナの時期に長々と議会を開いている場面は異常です。市議会が数名の議員のおもちゃになっている。

☆本日の議会報告会 または市議会への全般的なご意見・ご要望がございましたら、ご記入ください（自由記述）

- ▶ 参加者に20,30代が少ない。保育などの工夫もあるが、周知方法の検討を。SNS(LINEも)も色々やってみてください。
- ▶ 初めて参加したが、市議会議員の皆さん一緒に開催し、市民にわかりやすく伝えたいという気持ちが伝わりました。若干若い方が少なかったと思う、参加してもらえるような会になってほしい。今後も市の為に頑張ってください。ありがとうございました。
- ▶ 施策が検討され、実施されるからにはその理由・根拠があるはずで、その情報とセットで施策を公表いただかないと市民にその妥当性がわからないと思います。
- ▶ 市、行政、議会、議員がもう少し時間配分を考え直すべきでは？議員定数を削減する前にダラダラと長く議会を開く慣習を改め、光熱費、人件費を削減して下さい。又、厚生文教への負担が大きい。分けてほしい。
- ▶ できればディスカッションできるようにしてほしい。質問者・発言者がフェイスシールドをするなどすれば大丈夫ではないか。
- ▶ 非常に分かり易く、来年も有ればまた来ましょう。
- ▶ ①今回の報告は「コロナ対策」がほとんどを占めていたのはやむを得ない面がありましたが、他にも例えば新庁舎・新福祉会館建設問題、ごみ問題など状況を詳しく知りたかった。
- ▶ ②「コロナ」で入場制限がありましたが、まだ余裕があるように思いました。市報での広報のように思いますが、市の掲示板や町会回覧など広く知らせるようにした方が良いと思います。
- ▶ ③質問書形式は今後も続けてください。広く質問に回答でき■■■性も良い。■■■形式の中でも質問回答が時間の関係でできない面もあるの